

★特別な医療を受けている（人工呼吸器を使用している方）

	項 目
医療機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備物品の確保や収納、共有ルートの確保 ・ 人工呼吸器（アンビューバック、呼吸器回路） ・ 吸引器（充電式吸引器、手動式吸引器、注射器による吸引） ・ 加湿器（乾燥を防ぐための人工鼻） <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療器具（吸引カテーテル、滅菌水、消毒液、滅菌手袋 注射器 50ml、人工鼻、衛生材料等）
停電対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電になった時を想定 ・ アンビューバックの操作ができる人の確認と協力体制の確認 協力体制の確認 ・ 人工呼吸器の設定値を目の付くところに貼っておく ・ 代替物品を使えるように日頃から訓練しておく ・ 予備物品を準備し取り出せるところに保管しておく ・ 緊急連絡先、入院可能病院のリストを作成しておく ・ 医療機器業者への連絡方法を確認しておく ・ 発電機、バッテリーを用意する
人的資源	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難のために <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬送のための人手の確保（最低一人は呼吸ケアができる人が必要） ② 情報公開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の病気や置かれている状況を近隣の人や地域自主防災会に申し出て、緊急時搬送が必要な人のリストに入れてもらう ③ 緊急時にコミュニケーションが取れるように準備する <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字盤の練習 文字盤を読める人を増やす ④ 災害時安否確認する人を決めておく
災害直後	<p>確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 療養者の身体状況 ② 人工呼吸器作動の確認（停電、充電器による作業等） ③ 供給ルートの破損の確認 ④ 呼吸器故障の場合は、アンビューバック実施、近隣支援者への呼びかけ、病院の搬送 ⑤ 吸引器、加湿器、人工鼻の必要時使用 ⑥ 消防署、電力会社、医療機器取り扱い業者への連絡 ⑦ 医療機関、訪問看護ステーションなどへの連絡